

試作品 WPO-206

薄膜電極向け CNT 分散液

試作品 WPO-206 は、分散樹脂として導電性高分子を使用し開発された CNT 分散液です。蒸着装置を使用することなく、ご使用になる基材に塗布することで高導電の塗膜を作製することができます。塗膜に柔軟性があるため屈曲時においても導電性を発揮することが可能です。主にプリントドエレクトロニクスや透明電極など導電性が高い塗膜が必要なご用途にご利用いただくことが可能です。

■ 性状 (一般性状であり、納入規格ではありません)

外観	黒色液体
CNT 濃度	0.4%
分散樹脂	導電性高分子
溶媒	水
粘度	300 ~ 500 mPa·s
pH	1 ~ 2

※低温下での凍結や高温下での保管は分散の安定性に悪影響を及ぼします。
保管は常温、直射日光の当たらない所の保管を推奨いたします。

■ 用途及び使用方法

- ご用途に合わせて本品を希釈または添加し、十分均一化してください。
- 標準添加量は CNT 固形分として 0.001 ~ 0.1% (重量) ですが、作製物の色合いや目的の抵抗値により最適量が異なりますので、予め添加量を検討してください。



楠本化成株式会社

URL: <https://www.kusumoto.co.jp>

E-mail: info_TUBALL@kusumoto.co.jp

CNT 事業本部

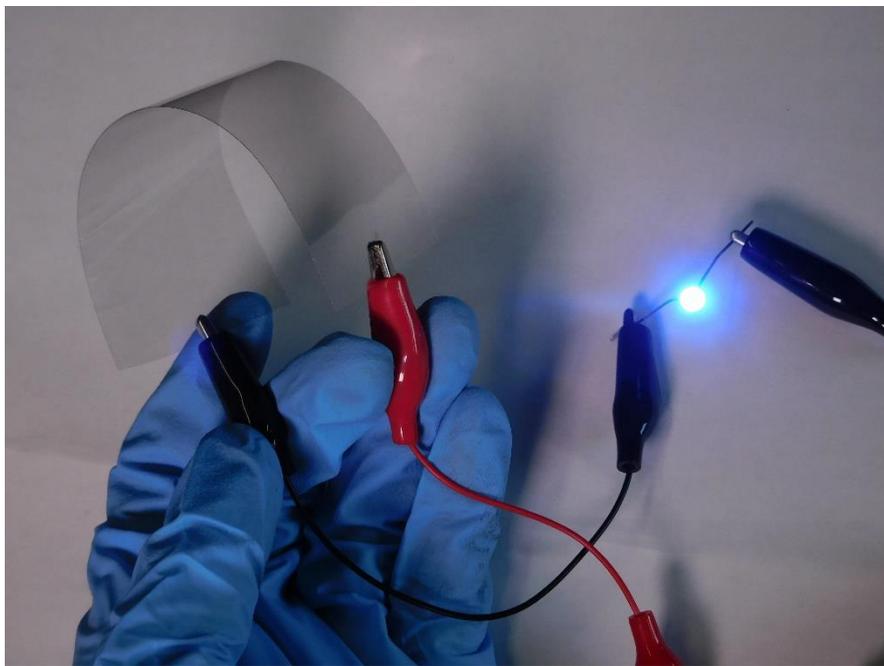
東京本社 : TEL. 03-3292-8687

大阪支店 : TEL. 06-6452-2011

■アプリケーション例：塗膜の導電率

試作品 WPO-206 をシャーレにキャストし 120°C で 30 分乾燥、200°C で 60 分アニール処理を行い成膜しました。塗膜の表面抵抗率をロレスタ(日東精工アナリテック社製, 型式 MCP-T370)を使用し四探針法で測定しました。塗膜の膜厚をレーザー顕微鏡(オリンパス社製, LEXT OLS4000)で測定しました。表面抵抗率と膜厚から導電率を算出しました。

	試作品 WPO-206
表面抵抗率	0.68 Ω/\square
導電率	3260 S/cm



- ・試作品 WPO-206 をご使用いただくことで導電性の高い塗膜を作製可能です。
- ・膜厚を厚くしますと抵抗値を下げることは可能ですが、塗膜の光透過性が低下します。
ご使用量につきましてはご用途に合わせてご検討ください。